

まちで活躍する農家さん

楽しく努力！畑に呼ばれて半世紀。

まだまだ
現役！



三芳で52年、農業を続けてきました。今も「畑が私を呼んでいる」と感じながら、毎日畑に出ています。近隣の皆さんにおいしい野菜を届けることが、今も変わらない夢です。私の元気の秘訣は、楽しんで働くこと。「楽しく努力」すれば、また明日も頑張ろうと思えます。代々受け継いできた農業を守り、発展させてきたことは私の誇りです。この誇りを大切に、次の世代へ農業を受け継いでいます。



鈴木園 11代目
鈴木 精二さん
(75歳)

ひ孫
美蘭ちゃん
(1歳)



まだまだ
現役！

まちで活躍する シルバーの力

①②町では広報みよしの全戸配布をシルバー人材センターに委託しています。配布を8年ほど続けている北澤都義さん・和香子さん

夫婦。配布途中で住民の方から声をかけられ立ち話をするのも楽しみの1つ。都義さんは81歳。まだまだ続けたいと話します。③農作業の手伝いで害虫などを防ぐネットを張るシルバー人材センター会員。美味しいみよし野菜を支えています。④公園の清掃をするシルバー人材センター会員。「この公園はすごく綺麗に保たれていて子どもが安心してあそべる」という声が、励みになると話します。



TOPICS
法人の取組

県の事業を有効活用！

経験を力に、 これからも働ける場を

私たちは、県の事業で派遣された社会保険労務士*に相談し、定年を60歳から65歳へ、定年後の継続雇用も65歳から70歳へ引き上げました。きっかけは、長年働いてくれている看護師が60歳を迎えることでした。看護師は、経験を積むことで得られるものが多い仕事です。年齢を重ねれば体力的に大変なこともあります。が、無理なく働き続けられるよう勤務も調整し、活躍してもらっています。



NPO法人
mamacare
代表理事
藤川 友子さん

高齢者が
経験を生かして
後輩を支える存在に！

mamacare HP ▶

医療的ケア児と家族が楽しく過ごせる場を企画。訪問看護・日中一時支援も行っています。



*70歳雇用制度
導入アドバイザー派遣事業
(埼玉県 HP)



事に取り組んでいます。中には、スーパーのカート回収を担当し、1日2万歩ほど歩く会員も。「仕事を通して地域の仲間ができたり、仲間とお茶を飲みながら話す時間も楽しみです」と話すのは、シルバー人材センター会員の梶山さん。働くことは、収入を得るだけでなく、体を動かし、人と関わる機会にもなっていると言います。

誰かのために自分の元気に

梶山さんは「住民の方から感謝されたり、子どもたちから元気に挨拶してもらえると、こちらにも元気をもらいます」と微笑みます。会員のひとつひとつの活動が、会員自身の生きがいとなり、まちを支える力にもなっています。

積み重ねた経験が、町の力に

働くことは、自分の力を発揮し、誰かの役に立つ喜びを感じられる機会でもあり、人との交流や日々の充実感は、生きがいや健康にもつながります。これまで培ってきた力を地域で生かすことが、自分自身の元気だけでなく、まちの未来を支える力にもなっています。

あなたも、自分にできることから、まちの元気をつくってみませんか。

? シルバー人材センター

60歳以上の健康で働く意欲のある人が会員となり、これまで培ってきた知識や経験、技能を生かして、地域の仕事に取り組む場です。企業や家庭、公共団体から依頼された仕事を通じて、生きがいづくりや地域社会への貢献につながっています。

☎ (公社) 入間東部シルバー人材センター
☎ 266-3001



会員
募集中!

毎

月ポストに届く「広報みよし」、きれいな公園、いつもの道。その当たり前の日常を陰で支える人たちがいます。

シルバー人材センターの会員は豊かな経験と技術を生かして、地域のさまざまな場所で活躍。一人ひとりの仕事は町を支える大きな力になっています。

331人、それぞれの生きがい

三芳町では、現在331人がシルバー人材センターに登録し、平均年齢は75.9歳。最高齢は89歳。それぞれの経験や体力に合わせて公園清掃や広報配布、農作業などさまざまな仕

元気の秘訣は 働きつづけること。

知人の紹介がきっかけでシルバー人材センターに入会して、もうすぐ10年。今は公園の整備や広報の配布をしています。仕事があると、生活リズムが整い元気でいられます。体が動くうちは、とにかくいろいろなことにチャレンジしたいですね。

まだまだ
現役！



公益社団法人
入間東部シルバー人材センター
会員 梶山 隆さん(78歳)